

シリーズ 元気です

108

よそにはない 素晴らしい資源があります！

はくとかんこうきょうかい 白兔観光協会



会長

三橋 英雄 さん
Hideo Mihashi

総務部長

河上 博一 さん
Hirokuni Kawakami



道の駅「神話の里 白うさぎ」前で

地元住民が一丸となって

例年にならない大雪に見舞われたお正月三日、白兔に、たい焼きならぬ「うさぎ焼き」が登場しました。これは、初詣のお客さんに、「白兔でしか買えないお土産を」と、白兔観光協会会長の三橋さんが、長年温めてきたアイデアを実現させたものです。地元の公民館で、住民が一丸となって製造し、正月三日で4000枚を売り切りました。「白兔に何か名物がほしい」と思っていました。まさかこん

なに売れるとは思っていませんでしたわ」と笑いが止まらない三橋さんは、地元で生まれ育ち、誰よりも白兔を愛し、平成元年に設立間もない白兔観光協会の会長職を引き受けて以来、白兔の町おこしに取り組んでいます。

かつてのにぎわいを

白兔観光協会は、もとは白兔自治会の観光部として、主に白兔海水浴場の管理をしていましたが、しだいに多くの海水浴客が訪れるようになり、昭和63年に自治会から分離し

て創設されました。

しかし、20数年が経過する中で、レジャーの志向も変化し、最盛期には15軒ほどあった海の家も、現在は2軒に減少。これではいけない、時代とともに失われていったにぎわいを取り戻そうと、三橋さんは挑戦し続けてきました。

白兔神社は今のままで

総務部長でもある、白兔神社の宮司の河上さんも白兔生まれの白兔育ち。

河上さんは、白兔がにぎわいを取り戻すことには賛成で

すが、一方で、白兔神社の参拝客の受け入れは、今のままで十分と考え、大きな神社になることは望んではいません。それは、参拝者一人ひとりの縁結びや病氣平癒の願いをしつかり受け止めたいと思っているからです。

白兔神社にお参りして病気が治った、縁結びの願いが叶ったという話を聞けばうれしく、さらに、神社で結婚式を挙げたカップルが、子どもの宮参り、紐落としと引き続き参らるることに喜びを感じているそうです。

《3月の番組ガイド》

.....鳥取市行政番組.....

『こんにちは鳥取市です』【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

【特集】

第9次鳥取市総合計画
設置しましたか？住宅用火災警報器
鳥取観光マイスター認定証授与式
若者会議活動報告会



静止画文字情報

『鳥取市からのお知らせ』【放送】毎週日・月・水・木



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、文字画面と音声でご案内します。

いなばぴよんぴよんネット

.....自主制作番組.....

農業番組『いなばアグリタイム』【放送】毎週水・木

ハウス栽培のアスパラガスの収穫、農作物の栽培技術を学ぶ農業塾開講の話題などをお送りします。

地域情報番組『とっとりウオーキング』【放送】毎週日・月

ひなまつりなど地域の伝統行事や、卒業・卒園を迎える子どもたちの話題をお送りします。

生活情報番組『ぴよんぴよんワイド』【放送】毎週火

子育てや健康をテーマに、暮らしに役立つ情報や話題をお届けします。

手話番組『手話でコミュニケーション』【放送】毎週日・月

ニュースや話題、行事、お知らせを手話や字幕で紹介します。

鳥取市コミュニティデータ放送が始まりました！

鳥取市の行政情報や地域情報など生活に密着した情報が、地デジテレビやSTBなどのリモコンを操作することで、ご家庭のテレビで手軽にご覧いただける「鳥取市コミュニティデータ放送」がスタートしました。操作方法など詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

情報をお寄せください！

いなばぴよんぴよんネット ☎ 0857-22-6111
放送予定は予告なく変更することがあります。
番組の放送時間は、ホームページまたはデジタル放送の電子番組表(EPG)をご覧ください。
<http://www.inabapyonpyon.net>



四季を通じて楽しめる白兔

白兔の新名物としての期待が高まる「うさぎ焼き」方は、夏だけでなく四季を通じていろいろあると、三橋さんと河上さんは考えています。それは、昨年10月に、白兔海岸を最西端とする山陰海岸ジオパークが、世界ジオパークに加盟し、白兔の優

れた自然が世界に認められたこと。

また、昨年12月には、白兔海岸が全国的な「恋人の聖地」に選ばれ、今後、縁結びにご利益のある白兔神社の知名度を押し上げる効果が期待されること。

さらに来年は、古事記が編纂されて1300年の節目の年を迎え、神話「因幡の白うさぎ」がますます脚光を浴びることが予想されるなど、現在、白兔は、四季を通じて楽しめる、にぎわいのある観光地へと生まれ変わりつつあ

郷土を愛する心

るからです。

最近、白兔神社を参拝するお客さんにも変化が見られ、若い人が目立つようになりました。「情報発信の効果が結びついてきているのでは」と河上さんは分析しています。

三橋さんは、もう一度、神話「因幡の白うさぎ」を小学校の教科書に復活させたいと願っています。先日、子どもを遊ばせたというお年寄りがお越しになり、「死ぬまでに一度

白兔を訪れたかった」と話をされました。三橋さんにとっては、郷土を誇らしく、無常の喜びを感じた瞬間でした。

白兔観光協会では、今後も地元と一体になって、神話にちなんだ町おこしを行っているとのこと。

住民が一丸となつて取り組んだ白兔再生の秘けつは、地元生まれ育った2人が、よそにはないすばらしい資源に誇りを持ち、それをこよなく愛しながら、粘り強く地元を動かし続けたことだと思いま